

付録 II CEFによるeIDASインフラ開発支援

CEF(Connecting Europe Facility)では、eIDAS規則に準拠するインフラを整備するための資金援助を行っている。資金援助プログラムの主な事例を以下に紹介する。

(参照URL : <https://ec.europa.eu/inea/en/connecting-europe-facility/cef-telecom/projects-by-dsi/eidentification-and-esignature>)

1. オーストリア (Austria)

(1) eIDASインフラ開発支援

プロジェクト番号	2014-AT-IM-0006
プロジェクト名	Hosted Virtual Identity Provider for the Austrian eID System
実施国	Austria
期間	September 2015 to March 2019
支援金額	€200,000
実施機関	Graz University of Technology (Austria)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	<p>オーストリアのインフラをeIDAS Networkに接続するための準備を行うことで、オーストリアにおけるeIDASインフラの開発を支援した。</p> <p>具体的には、Service Providerによるインストールや展開が可能なように、中央ホスト型のVIDP (Virtual Identity Provider) を設置して3年間試験運用を実施した。このVIDPは現在も稼働中であり、機能改善やCEF eID DSIが提供するeIDAS-Node統合パッケージの最新バージョンと一致するように継続的に更新が行われている。VIDPは、2018年9月末からオーストリアのFederal Ministry of Interior (内務省) が運用する本番環境のAustrian eIDAS Connectorにも使用されている。</p>

プロジェクト番号	2020-AT-IA-0020
プロジェクト名	eIDAS Node Upgrade v12 Austria
実施国	Austria
期間	January 2021 to June 2021
支援金額	€60,667
実施機関	TECHNISCHE UNIVERSITAET GRAZ (Austria)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	<p>eIDAS eID技術仕様の最新バージョン(version 1.2) に適合するように、欧州委員会が提供するeIDAS-Nodeサンプル実装コード Version 2.5 (又は必要に応じてそれ以降のバージョン) が使用して既存のAustrian eIDAS-Nodeをアップグレードすることを目的とする。開発されたバージョンのeIDAS-Node (Proxy Service及びConnector Serviceの両方) は、本番環境に導入する。</p> <p>これにより、オーストリアにおいて安全かつ相互運用可能なeIDASの実装が確保され、EU内の電子識別スキームに基づく越境での電子取引及びEUデジタル単一市場の発展に寄与する。</p>

(2) EU 内共同プロジェクト

オーストリアが参画した「EU共同プロジェクト」のプロジェクト番号を次に示す。
また、オーストラリアに所在する機関が中心となって実施したプロジェクトを赤字で示す。
なお、詳細は「32. EU内共同プロジェクト」を参照のこと。

- ・ 2017-EU-IA-0051
- ・ 2017-EU-IA-0044
- ・ **2018-EU-IA-0032**
- ・ 2019-EU-IA-0044

2. ベルギー (Belgium)

(1) EU内共同プロジェクト

ベルギーが参画した「EU共同プロジェクト」のプロジェクト番号を次に示す。
なお、詳細は「32. EU内共同プロジェクト」を参照のこと。

- ・ 2018-EU-IA-0026
- ・ 2019-EU-IA-0047

3. ブルガリア (Bulgaria)

ブルガリアが単独で又は共同で実施したプロジェクトは無い。

4. クロアチア (Croatia)

(1) eIDASインフラ開発支援 [アップデート]

プロジェクト番号	2020-HR-IA-0040
プロジェクト名	eIDAS-Node-Croatia
実施国	Croatia
期間	January 2021 to July 2021
支援金額	€38,042
実施機関	Financijska agencija (Croatia)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	<p>eIDAS eID技術仕様の最新バージョン(version 1.2) に適合するように、欧州委員会が提供するeIDAS-Nodeサンプル実装コード Version 2.5 (又は必要に応じてそれ以降のバージョン)が使用して既存のCroatian eIDAS-Nodeをアップグレードすることを目的とする。開発されたバージョンのeIDAS-Node (Proxy Service及びConnector Serviceの両方) は、本番環境に導入する。</p> <p>これにより、クロアチアにおいて安全かつ相互運用可能なeIDASの実装が確保され、EU内の電子識別スキームに基づく越境での電子取引及びEUデジタル単一市場の発展に寄与する。</p>

(2) 電子サービスの利用促進

プロジェクト番号	2015-HR-IA-0069
プロジェクト名	Ensuring Access to Croatian Public e-services within e-Citizens Platform for EU/EEA Citizens
実施国	Croatia
期間	June 2016 to June 2017
支援金額	€394,013
実施機関	Ministarstvo uprave (Ministry of Public Administration) (Croatia)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>既存10のクロアチア公共サービスを、NIAS (National Identification and Authentication System)を介してCroatian eIDAS-Nodeに接続した。接続されたサービスは、シングルアクセスポイント (https://europe.gov.hr/) で利用可能である。また、NIASの技術・運用環境をeIDASの要件に合わせてカスタマイズし、Croatian eIDAS-Nodeに統合した（セットアップは確認済み）。さらに、関連するステークホルダに必要な支援と訓練を提供した。</p> <p>これにより、接続されたすべてのサービスがテスト環境で利用可能となり、eIDの越境認証が可能となった。eIDAS規則に従って電子識別スキームの承認に関連する義務が適用されるようになれば、本番環境でも利用できるようになる。</p> <p>EU/EEA市民が国境を越えて利用できるクロアチアの公共電子サービスのポートフォリオを強化するために、CEFからクロアチアに追加資金（2017-HR-IA-0019）が付与された。</p>

プロジェクト番号	2017-HR-IA-0019
プロジェクト名	ePIC - Electronic Public Identification Croatia
実施国	Croatia
期間	May 2018 to December 2019
支援金額	€376,969
実施機関	Financijska agencija (Financial Agency) (Croatia)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>既存8のクロアチアの公共電子サービスをeIDAS-Nodeに統合し、(eIDAS Regulationで通知された場合に) EU市民が自分のeIDクレデンシャルを使って、これらの電子サービスにアクセスできるようにしました。対象となる電子サービスは、次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内務省（Ministry of the Interior）管轄の手續遵守 ・eNautics (Register of Boats and Register of Yachts の電子サービス) ・eVessel（クロアチア船籍の船舶所有者向け電子サービス）。 ・eSeafarer（船舶操縦士の海事職業免許の試験） ・不動産登記と地籍簿の共同情報システム ・インターネットによる会社登記 ・ePermit（建設許可証の取扱い） ・クロアチア共和国の電子公共調達システム <p>すべての電子サービスは実稼働中であり、他のCEF資金による活動（2015-HR-IA-0069）で設立されたe-Citizensプラットフォーム (https://europe.gov.hr/) からアクセスすることが可能である。</p>

	これにより、EU市民は自国のeIDクレデンシャルを使って、これらの電子サービスを利用できるようになり、クロアチア当局とのやり取りがより簡単かつ迅速に行えるようになった。
--	--

(3) 電子サービスの利用促進 [トラストサービス/電子署名及び電子シール]

プロジェクト番号	2018-HR-IA-0017
プロジェクト名	eS&S - eSeal & Signature Validation Service Croatia
実施国	Croatia
期間	November 2018 to February 2020
支援金額	€132,571
実施機関	Ministarstvo gospodarstva poduzetništva i obrta (Ministry of Economy Entrepreneurship and Crafts) (Croatia)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>クロアチアにおいて、適格電子署名/電子シールの検証及びTrusted Listsから作成された適格証明書に支えられた高度な電子署名/電子シールの検証のための公的電子署名検証サービスを確立した。公開電子署名検証サービス (https://validator.fina.hr/eSigWebApp-web) は、電子署名サービス (DSS) ライブラリを使用し、ETSI規格に準拠した電子署名/電子シールの検証を行う。公共電子署名検証サービスは、次のような本番環境と統合されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子公共調達プラットフォーム (EOJN) ・mFinaモバイルアプリケーション <p>電子署名の相互運用性と国境を越えた承認の重要性について、啓発とトレーニング活動も行った。</p> <p>電子署名検証サービスにより、クロアチアの電子ビジネスや電子調達において、国境を越えた交換を含め、電子的に署名又は封印された文書の更なる利用が可能になった。</p>

(4) EU内共同プロジェクト

クロアチアが参画した「EU共同プロジェクト」のプロジェクト番号を次に示す。

なお、詳細は「32. EU内共同プロジェクト」を参照のこと。

- ・ 2018-EU-IA-0036

5. キプロス (Cyprus)

(1) EU内共同プロジェクト

キプロスが参画した「EU共同プロジェクト」のプロジェクト番号を次に示す。

なお、詳細は「32. EU内共同プロジェクト」を参照のこと。

- ・ 2018-EU-IA-0026

6. チェコ共和国 (Czech Republic)

(1) eIDASインフラ開発支援

プロジェクト番号	2014-CZ-IM-0003
プロジェクト名	CZ PEPS
実施国	Czech Republic
期間	January 2016 to December 2019
支援金額	€200,000
実施機関	CZ.NIC z. s. p. o. (Czech Republic)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	<p>チェコ共和国のインフラをeIDAS Networkに接続するための準備を行うことで、チェコ共和国におけるeIDASインフラの開発を支援した。</p> <p>具体的には、国のeIDソリューションにリンクしたCzech Republic eIDAS-Node (eIDAS Proxy Service) を設置して3年間試験運用を実施した。National Registers Authorityとの合意により、現在、この受益者がチェコ共和国の公式eIDAS-Nodeを運用している。</p> <p>これにより、EU市民は通知されたeIDを使用してチェコ共和国の公共eサービスでの認証が可能となり、まもなく(2020年9月)他のEU加盟国の公共eサービスでも認証が可能となる予定である。</p>

プロジェクト番号	2014-CZ-IM-0012
プロジェクト名	Setup and operate Connector proxy services in the Czech Republic
実施国	Czech Republic
期間	November 2015 to October 2019
支援金額	€44,000
実施機関	eDocDelivery SE (Czech Republic)
状況	Terminated 【終了】
実施内容 (参考)	<p>チェコ共和国が使用するeIDAS-Nodeの初期バージョンを構築した。</p> <p>しかし、チェコ当局が他のeIDAS-Nodeの運用者(CEF Action 2014-CZ-IM-0003で資金提供された運用者)を選択したため、このeIDAS-Nodeをチェコ共和国の公式eIDインフラに統合して、当初想定していた3年間の試験運用を実施できる状況ではなかった。</p>

プロジェクト番号	2020-CZ-IA-0049
プロジェクト名	CZ Node Upgrade
実施国	Czech Republic
期間	October 2020 to March 2021
支援金額	€39,774
実施機関	CZ.NIC z. s. p. o. (Czech Republic)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	<p>IDAS eID技術仕様の最新バージョン(version 1.2) に適合するように、欧州委員会が提供するeIDAS-Nodeサンプル実装コード Version 2.5 (又は必要に応じてそれ以降のバージョン) が使用して既存のCzech eIDAS-Nodeをアッ</p>

	<p>ブグレードすることを目的とする。開発されたバージョンのeIDAS-Node (Proxy Service及びConnector Serviceの両方) は、本番環境に導入する。</p> <p>これにより、チェコ共和国において安全かつ相互運用可能なeIDASの実装が確保され、EU内の電子識別スキームに基づく越境での電子取引及びEUデジタル単一市場の発展に寄与する。</p>
--	---

(2) EU内共同プロジェクト

チェコ共和国が参画した「EU共同プロジェクト」のプロジェクト番号を次に示す。
また、チェコ共和国に所在する機関が中心となって実施したプロジェクトを赤字で示す。
なお、詳細は「32. EU内共同プロジェクト」を参照のこと。

- ・ 2017-EU-IA-0044
- ・ **2019-EU-IA-0047**
- ・ 2020-EU-IA-0056
- ・ 2020-EU-IA-0115

7. デンマーク (Denmark)

(1) eIDASインフラ開発支援

プロジェクト番号	2014-DK-IM-0004
プロジェクト名	Danish eID node and operations
実施国	Denmark
期間	June 2016 to May 2020
支援金額	€150,000
実施機関	Digitaliseringsstyrelsen (Agency of Digitisation Denmark) (Denmark)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	<p>デンマークのインフラをeIDAS Networkに接続するための準備を行うことで、デンマークにおけるeIDASインフラの開発を支援した。</p> <p>具体的には、国のeIDソリューションにリンクしたDanish eIDAS-Node (eIDAS Proxy Service) を設置して2年間試験運用を実施した。これにより、通知されたeIDを持つEU市民は、デンマークの公共電子サービスでの認証が可能となり、まもなく他のEU加盟国で提供される電子サービスでも認証が可能となる予定である。</p>

(2) 電子サービスの利用促進

プロジェクト番号	2015-DK-IA-0091
プロジェクト名	Integrating Danish e-services to national eID gateway
実施国	Denmark
期間	April 2017 to March 2019
支援金額	€919,075
実施機関	Digitaliseringsstyrelsen (Agency for Digitisation) (Denmark)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	<p>デンマークの9つのService ProviderがDanish eID Gateway (eIDAS-Node) に接続され、国境を越えた利用者向けに53の電子サービスが提供できる</p>

	<p>ようになった。</p> <p>また、市民及び企業向けそれぞれの、既存の公開プラットフォームを拡張し、EU市民と企業がデンマークの電子サービスでの認証をやすくした。さらに、オンボーディングを容易にする多数のツールを作成することで、将来の電子サービスをDanish eID Gatewayに統合するための基盤を構築した。</p> <p>なお、デンマーク海事局（Danish Maritime Authority）及びデンマーク関税・税務局（Danish Customs and Tax Administration）の接続が無償資金協力の契約では予定されていたが、未実施であった。</p> <p>この事業は、デンマークがeIDAS規則の要件を満たすことを支援し、EU市民が自国の電子識別手段（及びeIDAS規則に基づいて通知された電子識別手段）を使用してデンマークの公共電子サービスにアクセスすることを促進することに寄与した。</p>
--	--

(3) EU内共同プロジェクト

デンマークが参画した「EU共同プロジェクト」のプロジェクト番号を次に示す。
 なお、詳細は「32. EU内共同プロジェクト」を参照のこと。

- ・ 2016-EU-IA-0064
- ・ 2019-EU-IA-0047

8. エストニア（Estonia）

(1) eIDASインフラ開発支援

プロジェクト番号	2014-EE-IM-0022
プロジェクト名	Implementation of Estonian eID Node
実施国	Estonia
期間	January 2016 to February 2019
支援金額	€400,000
実施機関	Information System Authority (Estonia)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>エストニアのインフラをeIDAS Networkに接続するための準備を行うことで、エストニアにおけるeIDASインフラの開発を支援した。</p> <p>具体的には、国のeIDソリューションにリンクしたEstonia eIDAS-Node（eIDAS Proxy Service及びeIDAS-Connector）を設置して3年間試験運用を実施した。これにより、EISA (Estonian Information System Authority)は、eIDAS規則の要件を満たしたことになり、通知されたeIDを持つEU市民がエストニア国内の電子サービス及びEU加盟国の電子サービスで認証を受けられるプラットフォームを構築した。</p>

(2) EU内共同プロジェクト

エストニアが参画した「EU共同プロジェクト」のプロジェクト番号を次に示す。
 なお、詳細は「32. EU内共同プロジェクト」を参照のこと。

- ・ 2019-EU-IA-0047

9. フィンランド (Finland)

フィンランドが単独で又は共同で実施したプロジェクトは無い。

10. フランス (France)

(1) eIDASインフラ開発支援

プロジェクト番号	2014-FR-IM-0013
プロジェクト名	Setting up, integration with "France Connect" and implementation of eID DSI
実施国	France
期間	July 2016 to June 2020
支援金額	€100,000
実施機関	Direction Interministérielle du Numérique de l'Etat (France)
状況	Ongoing 【実行中】
実施内容 (参考)	フランスにおけるeIDASインフラの開発を支援した。 具体的には、国のeIDソリューションにリンクしたFranch eIDAS-Node (eIDAS Proxy Service) を設置して1年間試験運用を実施した。

(2) EU内共同プロジェクト

フランスが参画した「EU共同プロジェクト」のプロジェクト番号を次に示す。

なお、詳細は「32. EU内共同プロジェクト」を参照のこと。

- ・ 2016-EU-IA-0070
- ・ 2018-EU-IA-0036
- ・ 2020-EU-IA-0026

11. ドイツ (Germany)

(1) eIDASインフラ開発支援

プロジェクト番号	2015-DE-IA-0065
プロジェクト名	TREATS (TRans-European AuThentication Services)
実施国	German
期間	December 2016 to November 2017
支援金額	€560,377
実施機関	Governikus GmbH & Co. KG (Germany)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	このプロジェクトによって、既存のドイツのeIDインフラからeIDAS規則に準拠したEU/EEA電子識別スキームへのアクセスが可能になった。eIDAS認証を容易にするため、ソフトウェアメーカ3社 (Governikus、MTG、OpenLimit) が提供するeID serverへのeIDAS-Connectorの統合が行われ、この統合に続いて、既存のアプリケーション (ドイツの国民IDカードに対応済み) を拡張し、EU/EEN市民が独自の国民識別スキームを使用してeIDAS認証をサポートできるようにした。この拡張は、オンライン居住者登録証明書、サービスアカウント、事業登録、ハルツ応用科学大学の様々なeIDアプリケーションを対象としている。

	接続されたすべてのサービスはテスト環境で利用可能であり、eIDの越境認証を可能にした。電子識別スキームの承認に関連する義務がeIDAS規則に従って完全に適用されれば、本番環境でも利用可能になる。
--	---

(2) 電子サービスの利用促進 [教育関係/学生証]

プロジェクト番号	2017-DE-IA-0022
プロジェクト名	StudIES+
実施国	Germany
期間	March 2018 to December 2019
支援金額	€1,421,253
実施機関	Francotyp-Postalia Holding AG (Germany)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	<p>eIDと電子署名DSIを使用して学生のモビリティを促進することを目的として、デジタル学生証、モバイル学生証、安全で認証された文書交換のためのソリューション (StudIES+) を開発した。</p> <p>具体的には、高等教育機関 (HEP) の学生向けのデジタルサービスを組み込み、eIDASのeIDでアクセス可能なStudIES+プラットフォームを展開した。このプラットフォームでは、デジタル学生証を簡単かつ安全に作成するためのアプリを使用している。モバイル学生証は、国内で発行された身分証明書と一緒に入手することができる。このカードの使用方法は、eLibraryとeExamのユースケースで実証され、図書館サービスへのアクセスや学業成績の取得がより簡単になる。</p> <p>さらに、このプラットフォームは、学生、教育機関、企業間の署名された文書交換を提供する。例えば、学生と家主の間の賃貸契約 (eVacancy) や、学生と雇用者の間の労働契約 (eJob) を管理することができる。</p>

(3) EU内共同プロジェクト

ドイツが参画した「EU共同プロジェクト」のプロジェクト番号を次に示す。

なお、詳細は「32. EU内共同プロジェクト」を参照のこと。

- ・ 2017-EU-IA-0044
- ・ 2018-EU-IA-0036

12. ギリシャ (Greece)

(1) eIDASインフラ開発支援

プロジェクト番号	2014-EL-IM-0018
プロジェクト名	eID in Greece
実施国	Greece
期間	January 2016 to December 2018
支援金額	€150,000
実施機関	Ministry of Administrative Reconstruction (Greece)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	ギリシャのインフラをeIDAS Networkに接続するための準備を行うこと

	<p>で、ギリシャにおけるeIDASインフラの開発を支援した。</p> <p>具体的には、STORK2インフラをベースに、DIGITが提供するeIDAS-Nodeのサンプル実装をベースにGreek eIDAS-Nodeをアップグレードして3年間試験運用を実施した。</p>
--	--

プロジェクト番号	2020-EL-IA-0095
プロジェクト名	eid UP: Upgrade Greek eIDAs node
実施国	Greece
期間	March 2021 to August 2021
支援金額	€46,869
実施機関	National Infrastructures for Research and Technology (Greece)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>eIDAS eID技術仕様の最新バージョン(version 1.2) に適合するように、欧州委員会が提供するeIDAS-Nodeサンプル実装コード Version 2.5（又は必要に応じてそれ以降のバージョン）が使用して既存のGreek eIDAS-Nodeをアップグレードすることを目的とする。開発されたバージョンのeIDAS-Node（Proxy Service及びConnector Serviceの両方）は、本番環境に導入する。</p> <p>これにより、ギリシャにおいて安全かつ相互運用可能なeIDASの実装が確保され、EU内の電子識別スキームに基づく越境での電子取引及びEUデジタル単一市場の発展に寄与する。</p>

(2) 電子サービスの利用促進

プロジェクト番号	2015-EL-IA-0083
プロジェクト名	Transformation of Greek e-Gov Services to eIDAS Crossborder Services
実施国	Greece
期間	January 2017 to May 2018
支援金額	€459,812
実施機関	Ministry of Administrative Reconstruction (Greece)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>既存のギリシャの公共サービスをGreek eIDAS-Nodeに接続し、他のEU諸国の市民がこれらのサービスにアクセスできるようにした。接続されたeサービスは以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業及び市民向けの政府サービス（政府ポータル「ERMIS」、関税等に関するポータル「Di@vgeia」、電子調達ポータル「Prometheus」、GEMI - General Commercial Registry） ・医療・社会保障関連サービス（社会保障番号電子登録、全国電子処方箋システムなど） ・提携大学の学術・研究サービス（ERASMUSコースへの留学生登録、e-Diploma補助教材提供サービス、学生情報システム、電子投票用学術プログラム、オンライン学生コミュニティ） <p>なお、UPRCのERASMUS コースへの留学生の登録は、無償資金協力の契約では予定されていたが、未実施であった。</p> <p>この事業は、Spanish eID を使用して検証した。eIDAS規則に関連する義務が完全に適用されれば、他のEUの電子識別スキームへのアクセスが可能となる。</p>

(3) 電子サービスの利用促進 [電子署名]

プロジェクト番号	2017-EL-IA-0034
プロジェクト名	e-Signature and Erasmus Student eCard in Greece
実施国	Greece
期間	September 2018 to March 2021
支援金額	総額€360,534のうち、€270,400 (総額の75%)
実施機関	Hellenic Ministry of Education and Religious Affairs (Greece)
状況	Ongoing 【実行中】
実施内容 (参考)	<p>この事業の目的は、ギリシャの行政における電子署名の導入と使用、及びERASMUSの学生による国境を越えたeIDの使用を促進することである。</p> <p>ギリシャの行政機関のニーズに合わせて法的拘束力のある電子署名を作成し、電子署名の国境を越えた検証を可能にするために、ギリシャの行政機関向けリモート電子署名の中央サービスを開発する。このシステムは、既存のeIDASインフラとQualified Trust Service Provider (QTSP) の2つのコンポーネント上に構築し、リモート電子署名ソリューションは、eSignature DSI (DSS)に基づき、2つのサービスに展開する予定である。</p> <p>ここでは、ギリシャ以外のEUの大学からのエラスムス交換留学生在がこのサービスに申し込む際にeIDを使用できるように、AcademicIDサービスをギリシャのeIDAS-Nodeに接続する。これにより、ギリシャ以外のEUの大学からのエラスムス交換留学生は、ギリシャの大学、国、又は民間団体が提供するいくつかの学生割引や特典を利用できるようになる。</p>

プロジェクト番号	2019-EL-IA-0026
プロジェクト名	eThemisID: Integrating the Greek Justice System with eIDAS and e-signature services
実施国	Greece
期間	January 2020 to July 2021
支援金額	€286,477
実施機関	Institute of Communication and Computer Systems (Greece)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	<p>eIDAS準拠の越境認証と電子署名サービスをEUの利用者に提供するために、eID DSI及びeSignature CEF DSIをGreek Justice Systemの既存システムと統合することを目的とする。</p> <p>具体的には、ギリシャ国家評議会 (Greek Council of State) ポータルがGreek eIDAS-Nodeに接続され、ギリシャの公共部門と行政/法律紛争を抱えているEU市民や法人が、関連するギリシャ当局と通信するために電子サービスを利用できるようになる。</p> <p>さらに、ギリシャ国家評議会ポータルの自動配信メカニズムを通じて作成されたすべての電子文書に電子シール機能 (デジタル署名と検証) を有効にする。なお、eSeal機能は、ギリシャ国家評議会の41の行政裁判所に対して有効にされる予定である。</p> <p>ギリシャ国家評議会ポータルは、越境認証 (eIDAS経由) と電子シール機能 (DSSツールに基づく) のために本番環境で利用できるようになる。</p>

(4) EU内共同プロジェクト

ギリシャが参画した「EU共同プロジェクト」のプロジェクト番号を次に示す。
また、ギリシャに所在する機関が中心となって実施したプロジェクトを赤字で示す。
なお、詳細は「32. EU内共同プロジェクト」を参照のこと。

- ・ 2016-EU-IA-0059
- ・ 2017-EU-IA-0032
- ・ 2017-EU-IA-0044
- ・ 2018-EU-IA-0024
- ・ 2018-EU-IA-0036
- ・ **2018-EU-IA-0044**
- ・ 2019-EU-IA-0044
- ・ 2020-EU-IA-0115

13. ハンガリー (Hungary)

ハンガリーが単独で又は共同で実施したプロジェクトは無い。

14. アイルランド (Ireland)

(1) EU内共同プロジェクト

アイルランドが参画した「EU共同プロジェクト」のプロジェクト番号を次に示す。
なお、詳細は「32. EU内共同プロジェクト」を参照のこと。

- ・ 2020-EU-IA-0056

15. イタリア (Italy)

(1) eIDASインフラ開発支援

プロジェクト番号	2014-IT-IM-0016
プロジェクト名	FICEP - First Italian Crossborder eIDAS Proxy
実施国	Italy
期間	January 2016 to December 2019
支援金額	€530,925
実施機関	Agenzia Per L'Italia Digitale (Italy)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	イタリアのインフラをeIDAS Networkに接続するための準備を行うことで、イタリアにおけるeIDASインフラの開発を支援した。 具体的には、国のeIDソリューションにリンクしたItarlian eIDAS-Node (eIDAS Proxy Serviceと公共・民間用のeIDAS Connector 2台)を設置して3年間試験運用を実施した。

(2) 電子サービスの利用促進 [金融関係／モバイル決済]

プロジェクト番号	2017-IT-IA-0039
プロジェクト名	First Italian Crossborder eIDAS Services (FICES)
実施国	Italy
期間	February 2018 to June 2019
支援金額	€551,234
実施機関	InfoCert S.p.A (Italy)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>金融事業者（銀行など）がeIDASに準拠した認証を活用して、国境を越えた消費者に新しいサービスを提供できることを実証した。しかし、民間のService ProviderがeIDAS-Nodeに接続する際の制約により、アップグレードされたMPA（Mobile Payment Applications）は稼働していない。</p> <p>具体的には、BNLとINGのモバイル決済アプリケーション（MPA）が更新され、旅行客がアプリケーションにアクセスして一部のサービス（コンシェルジュサービス、都市移動のためのmチケット、請求書支払い、モバイルトップアップなど）を利用できるようになった。さらに、INGのアプリケーションも更新され、新規顧客の取り込みにeID認証を活用し、銀行との契約に必要な適格デジタル署名証明書を登録できるようになった。</p>

(3) EU内共同プロジェクト

イタリアが参画した「EU共同プロジェクト」のプロジェクト番号を次に示す。
また、イタリアに所在する機関が中心となって実施したプロジェクトを赤字で示す。
なお、詳細は「32. EU内共同プロジェクト」を参照のこと。

- ・ 2017-EU-IA-0044
- ・ **2017-EU-IA-0051**
- ・ 2018-EU-IA-0026
- ・ 2018-EU-IA-0036
- ・ 2018-EU-IA-0044
- ・ 2019-EU-IA-0044
- ・ 2020-EU-IA-0026

16. ラトビア（Latvia）

(1) eIDASインフラ開発支援

プロジェクト番号	2017-LV-IA-0047
プロジェクト名	Creation of eIDAS solution for using Latvia's and EU e-services according to eIDAS regulation
実施国	Latvia
期間	June 2017 to May 2019
支援金額	€185,612
実施機関	State Regional Development Agency (Latvia)
状況	Closed 【完了】

実施内容（参考）	<p>最新の技術仕様に従って、eIDAS gateway (eIDAS-Node) を設置し、Latvian Unified Authentication Moduleと統合して、eIDAS規則に従ってEU/EEA市民の越境認証を可能にした。</p> <p>また「TAPIS (Spatial Development Planning Information System) の一部である「Informative certificate of permitted usage of land unit according to spatial plan」と「Submission of an application for a residence permit」の2つのサービスがeIDAS-Nodeに接続できる電子サービスであることを証明した。さらに、ラトビア国家当局が提供するすべての電子サービスのeIDAS-Nodeへの統合と越境認証を支援するために、eIDASプロファイルレジストリを開発した。</p>
----------	---

17. リトアニア (Lithuania)

(1) eIDASインフラ開発支援

プロジェクト番号	2017-LT-IA-0041
プロジェクト名	Implementation of Lithuanian eIDAS Node
実施国	Lithuania
期間	February 2018 to June 2019
支援金額	€79,370
実施機関	Informatikos ir ryšių departamentas prie Lietuvos Respublikos vidaus reikalų ministerijos (Lithuania)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>リトアニアのインフラをeIDAS Networkに接続するための準備を行うことで、リトアニアにおけるeIDASインフラの開発を支援した。</p> <p>具体的には、リトアニアで1年間、eIDAS-Nodeの配備と試験運用を支援した。また、eIDAS-Nodeと国の電子政府ゲートウェイの接続もアップグレードした。</p> <p>リトアニアのeIDAS-Nodeは現在、他のEU eIDAS-Nodeと実運用で接続されている。これにより、リトアニアの公共サービスにおいて、EU市民が自国の電子識別スキームを使用して認証を受けることができるようになる。また、他のEU諸国のオンラインサービスにアクセスする際にも、(eIDAS規則に基づいて通知されたリトアニアのeIDスキームを使用する場合、) リトアニア国民の認証が可能になる。</p>

(2) EU内共同プロジェクト

リトアニアが参画した「EU共同プロジェクト」のプロジェクト番号を次に示す。

なお、詳細は「32. EU内共同プロジェクト」を参照のこと。

・ 2017-EU-IA-0044

18. ルクセンブルグ (Luxembourg)

(1) eIDASインフラ開発支援

プロジェクト番号	2017-LU-IA-0040
プロジェクト名	Integration of the eID DSI in the e-Service platform and implementation of eIDAS nodes in Luxembourg

実施国	Luxembourg
期間	May 2017 to July 2019
支援金額	€142,847
実施機関	Gouvernement du Grand-Duché de Luxembourg - Centre des technologies de l'information de l'Etat (Luxembourg)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>ルクセンブルクのインフラをeIDAS Networkに接続するための準備を行うことで、ルクセンブルクにおけるeIDASインフラの開発を支援した。</p> <p>具体的には、最新のeIDAS技術仕様に準拠したeIDAS-Node（Connector 1つとProxy Service 1つ）を設置して1年間試験運用を実施した。さらに、eIDAS-Nodeをルクセンブルクの中央認証ポータル（MyGuichet）と統合し、国民がEU eIDを使ってルクセンブルクの国民登録簿に自分のIDを作成・更新できる専用コンポーネントを実装した。</p> <p>ルクセンブルクのeIDAS-Nodeは現在、他のEU eIDAS-Nodeと実運用で接続されている。これにより、ルクセンブルクの公共サービスにおいて、EU市民が自国の電子識別スキームを使用して認証を受けることができるようになり、また、他のEU加盟国でルクセンブルクの電子識別スキームを使用してオンラインサービスにアクセスする際にも、ルクセンブルク市民が認証を受けられるようになった。</p>

(2) EU内共同プロジェクト

ルクセンブルグが参画した「EU共同プロジェクト」のプロジェクト番号を次に示す。
また、ルクセンブルグに所在する機関が中心となって実施したプロジェクトを赤字で示す。
なお、詳細は「32. EU内共同プロジェクト」を参照のこと。

- ・ **2018-EU-IA-0036**
- ・ 2020-EU-IA-0115

19. マルタ（Malta）

(1) eIDASインフラ開発支援

プロジェクト番号	2014-MT-IM-0001
プロジェクト名	Setting up and operation of Pan-European Proxy Services in Malta
実施国	Malta
期間	July 2016 to June 2020
支援金額	€200,000
実施機関	Malta Information Technology Agency (Malta)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>マルタのインフラをeIDAS Networkに接続するための準備を行うことで、マルタにおけるeIDASインフラの開発を支援した。</p> <p>具体的には、国のeIDソリューションにリンクしたMalta eIDAS-Node（eIDAS Proxy Service）を設置して3年間試験運用を実施した。これにより、EU市民は、自国のeIDを使用して、マルタの公共電子サービスにまもなくアクセスできるようになる。</p>

20. オランダ (Netherlands)

(1) eIDASインフラ開発支援

プロジェクト番号	2014-NL-IM-0008
プロジェクト名	NL-PEPS
実施国	Netherlands
期間	January 2016 to January 2019
支援金額	€200,000
実施機関	The Kingdom of the Netherlands Ministerie Van Binnenlandse Zaken en Koninkrijksrelaties/Ministry of Interior and Kingdon Relations (Netherlands)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	<p>オランダのインフラをeIDAS Networkに接続するための準備を行うことで、オランダにおけるeIDASインフラの開発を支援した。</p> <p>具体的には、eRecognition Identity ProvidersにリンクしたDutch eIDAS-Node (eIDAS Proxy Service) を設置して3年間試験運用を実施した。これにより、Dutch eIDAS-Nodeは完全に稼働し、他のEU/EEA諸国の国民からの越境認証要求をサポートできるようになった。</p>

(2) 電子サービスの利用促進

プロジェクト番号	2014-NL-IM-0020
プロジェクト名	eIDAS 2018 for Municipalities
実施国	Netherlands
期間	April 2016 to March 2017
支援金額	€1,380,000
実施機関	The Kingdom of the Netherlands Ministry of Economic Affairs (NL-MEA) (Netherlands)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	<p>69の自治体と131のサービスをDutch eIDAS-Nodeに接続した。これにより、サービス数は予想より少ないものの(推定約300)、すべての自治体が少なくとも1つのサービスを接続し、より多くの接続(互換性のあるIdentity Brokerなど)のための重要な基礎が構築された。</p> <p>eIDの国境を越えた受入れに向けて、より多くの公共のService Providerを接続するために必要なソフトウェアとインフラを準備した。また、他の事業者の接続をサポートするために必要な文書、標準、ソフトウェアを開発した。さらに、eIDASによって生み出された成功と機会の証となるよう、コミュニケーションに強く重点を置いた。</p> <p>追加の自治会をオランダにおけるeIDASインフラに接続するための活動(2015-NL-IA-0077)が、この後に続いている。</p>

プロジェクト番号	2015-NL-IA-0077
プロジェクト名	eIDAS for Municipalities II
実施国	Netherlands
期間	January 2017 to September 2018
支援金額	€787,546

実施機関	Connected Information Systems BV (Netherlands)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>オランダの21の自治体が新たにDutch eIDAS-Nodeに接続され、これらの自治体が提供する100以上の公共サービスが、eIDAS規則準拠の越境認証のために開放された。これらの接続は、Dutch Electronic Access Services Framework (EAS) のIdentity Brokerの1つであるConnectisが、自治体のポータルサプライヤの支援を受けて確立したものである。</p> <p>ここでは、以前CEFの資金提供による活動（2014-NL-IM-0020）の経験を活用し、接続、維持、アップグレードにおいて自治体を支援した。国境を越えたeIDに関する認識を高め、民間及び公共のService Providerの間でeIDの利用を促進するために、コミュニケーション活動が実施された。なお、Breda自治体の接続は、助成金協定では予定されていたが、実施されなかった。</p> <p>このプロジェクトは、オランダがeIDAS規則の要件を満たすことを支援し、結果として、自国のeIDを使用するすべてのEU市民がオランダの公共電子サービスにアクセスすることが容易になる。</p>

プロジェクト番号	2015-NL-IA-0078
プロジェクト名	Connecting Dutch governmental service providers to NL-PEPS / eIDAS node
実施国	Netherlands
期間	January 2017 to June 2018
支援金額	€349,488
実施機関	Ministry of the Interior and Kingdom Relations (Netherlands)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>Electronic Access Services (EAS)の枠組みの一部であるIdentity Provider Broker (IDP)によって、オランダ政府のService Provider (CIBG Agency, Ministry of Justice and Security, RVO)をeIDAS-Nodeに接続した。</p> <p>このプロジェクトは、オランダがeIDAS規則の要件を満たすことを支援し、結果として、すべてのEU市民と企業が自国の電子識別スキームを使用してオランダの公共電子サービスにアクセスすることを容易にし、国境を越えたモビリティを確保した。これにより、政府系のService ProviderやBrokerは、NL-eIDAS-Nodeに接続する方法に関する知識と経験を習得し、さらなる適応とコスト削減を促進することができた。</p>

プロジェクト番号	2017-NL-IA-0014
プロジェクト名	Testing and piloting the NL eID ecosystem, including connection to the Municipal Personal Records Database
実施国	Netherlands
期間	January 2018 to June 2019
支援金額	€0
実施機関	Ministry of the Interior and Kingdom Relations (Netherlands)
状況	Terminated 【終了】
実施内容（参考）	<p>eID DSIを既存のオランダのeIDエコシステムに統合し、オランダの公共機関がどの加盟国からも発行されるeIDをサポートできるようにすることを目的とし、幾つかの公共サービスをNL eIDASエコシステムに接続するためのエンドツーエンドの試験とビジネスシミュレーションのパイロットに焦</p>

	点を当てて実施した。他の加盟国から送られてくるeIDの属性と、それに対応するオランダのBSN（市民サービス番号）を自動的に照合するID照合サービスの構築が計画され、Service Provider 4社が10の具体的なユースケースを試験的に実施する予定であったが、目的の達成を立証する技術報告書を提出することなく、受益者の要求により終了した。
--	---

(3) EU内共同プロジェクト

オランダが参画した「EU共同プロジェクト」のプロジェクト番号を次に示す。
 なお、詳細は「32. EU内共同プロジェクト」を参照のこと。

- ・ 2016-EU-IA-0064
- ・ 2018-EU-IA-0032
- ・ 2018-EU-IA-0036
- ・ 2019-EU-IA-0047
- ・ 2020-EU-IA-0026

21. ポーランド (Poland)

(1) eIDASインフラ開発支援

プロジェクト番号	2014-PL-IM-0002
プロジェクト名	Setting-up and operation of the Pan-European Proxy Service at national level in Poland
実施国	Poland
期間	July 2016 to June 2020
支援金額	€200,000
実施機関	Naukowa i Akademicka Sieć Komputerowa/Research and Academic Computer Network (Poland)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>ポーランドのインフラをeIDAS Networkに接続するための準備を行うことで、ポーランドでのeIDASインフラの開発を支援した。</p> <p>具体的には、国のeIDソリューションにリンクしたPolish eIDAS-Node（eIDAS Proxy Service）を設置して3年間試験運用を実施した。これにより、EU市民はポーランドの公共電子サービスに、それぞれの国のeIDを使ってアクセスすることができるようになる。</p>

(2) EU内共同プロジェクト

ポーランドが参画した「EU共同プロジェクト」のプロジェクト番号を次に示す。
 また、ポーランドに所在する機関が中心となって実施したプロジェクトを赤字で示す。
 なお、詳細は「32. EU内共同プロジェクト」を参照のこと。

- ・ **2020-EU-IA-0056**

22. ポルトガル (Portugal)

(1) 電子サービスの利用促進

プロジェクト番号	2016-EU-IA-0066
プロジェクト名	eIDAS2Business: Making Private businesses benefit from eIDAS
実施国	Portugal
期間	June 2017 to January 2019
支援金額	€223,884
実施機関	Agência para a Modernização Administrativa, I.P. (in English: Administrative Modernization Agency [AMA]) (Portugal)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	<p>ポルトガルの民間及び公共のOn-line Service ProviderをポルトガルのeIDAS-Nodeに接続し、eIDAS準拠の認証を可能にした。接続されたサービスは、次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AMAAutenticação.Govポータル (様々な公共機関及び民間団体が、国民識別スマートカードであるCitizenCard又は公的なSMSトークンサービスであるChaveMóvelDigitalを介して利用者を認証できるようにする) ・ 金融及び保険サービス <p>さらに、SIBSは、eIDAS Networkの下でAuthentication Providertositeとして現在、特に金融機関にサービスを提供することを目的とした、新しいeIDAS準拠のSMSトークンベースの認証メカニズムを提供している。</p> <p>この事業によって、ポルトガルがeIDAS規則の要件を満たすことを支援し、これにより、EU市民は、国の電子識別手段を使用してポルトガルの公共及び民間の電子サービスにアクセスしやすくなる。</p>

プロジェクト番号	2018-PT-IA-0045
プロジェクト名	PT-eIDAS: Authentication and eSignature in Portuguese services
実施国	Portugal
期間	March 2019 to March 2021
支援金額	総額€453,411のうち、€340,059 (総額の75%)
実施機関	Instituto Nacional da Propriedade Industrial I.P. (Portugal)
状況	Ongoing 【実行中】
実施内容 (参考)	<p>eIDAS規則に基づいて、他のEU/EEA諸国の利用者が司法や文化の分野でオンラインサービスの利用を可能にすることを目的として、Portuguese Justice Portal及びInspeção-Geral das Actividades Culturais (IGAC) PortalにeIDAS準拠の認証を提供するとともに、ポータルの活動範囲内で電子署名ソリューション (eSignature DSI使用) を提供する。</p> <p>eIDAS認証をサポートするため、Portuguese Justice PortalとIGAC Poatalは、Portuguese eIDAS-Nodeに接続される。さらに、eSignature DSI DSSを使用した電子署名ツールキットを提供する。電子署名ツールキットは、主にINPIとIGACのオンラインサービスで使用されるが、他のドメインで使用を希望する公共・民間団体にも提供し、eIDAS認証と電子署名の利用を促進する。</p>

プロジェクト番号	2020-PT-IA-0081
プロジェクト名	Upgrade of the Portuguese eIDAs node
実施国	Portugal
期間	March 2021 to November 2021
支援金額	€48,265
実施機関	AGENCIA PARA A MODERNIZACAO ADMINISTRATIVA IP (Portugal)
状況	Ongoing 【実行中】
実施内容（参考）	<p>eIDAS規則に基づき、ポルトガル市民登録所のオンラインサービス（出生登録、結婚、離婚、死亡の情報）を他のEU/EEA諸国の利用者が利用できるようにすることを目的とする。さらに、関連するオンライン登録サービスの電子署名（eSignature DSI -DSSに基づく）を可能にする。</p> <p>これを実現するために、オンラインプロセスの全面的な見直しを行い、eIDAS認証、属性の使用、電子署名が、すべてのプロセスにおいて情報の質とセキュリティを改善することで、これらのプロセスがすべての市民とそれを使用する専門家にとってより使いやすいものにする。</p> <p>このプロジェクトでは、Portuguese Justice PortalからのCentral Authentication（中央認証）及び2018-PT-IA-0045で開発された電子署名ツールキットを再利用する。また、対象となるすべての電子サービスがeIDASを介した越境認証のための本番環境で利用可能になる。</p>

(2) EU内共同プロジェクト

ポルトガルが参画した「EU共同プロジェクト」のプロジェクト番号を次に示す。
また、ポルトガルに所在する機関が中心となって実施したプロジェクトを赤字で示す。
なお、詳細は「32. EU内共同プロジェクト」を参照のこと。

- ・ 2017-EU-IA-0044
- ・ 2017-EU-IA-0051
- ・ 2018-EU-IA-0024
- ・ 2020-EU-IA-0115

23. ルーマニア（Romania）

ルーマニアが単独で又は共同で実施したプロジェクトは無い。

24. スロバキア（Slovakia）

(1) eIDASインフラ開発支援

プロジェクト番号	2014-SK-IM-0007
プロジェクト名	Setting-up of Pan-European Proxy Services at national level in order to link the national eID service to the core platform.
実施国	Slovakia
期間	January 2016 to December 2019
支援金額	€200,000
実施機関	Národná agentúra pre sieťové a elektronické služby (National agency for network and electronic services) (Slovakia)

状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>スロバキアのインフラをeIDAS Networkに接続するための準備を行うことで、スロバキアでのeIDASインフラの開発を支援した。</p> <p>具体的には、国のeIDソリューションにリンクしたSlovak eIDAS-Node（eIDAS Proxy Service）を設置して3年間試験運用を実施した。これにより、eIDAS規則に従って通知されたeIDを持つEU市民は、スロバキアの公共電子サービスでの認証が可能となる。</p>

プロジェクト番号	2020-SK-IA-0043
プロジェクト名	Slovak National eIDAS Node Upgrade
実施国	Slovakia
期間	February 2021 to October 2021
支援金額	€43,182
実施機関	Národná agentúra pre sieťové a elektronické služby (Slovakia)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>eIDAS eID技術仕様の最新バージョン(version 1.2) に適合するように、欧州委員会が提供するeIDAS-Nodeサンプル実装コード Version 2.5（又は必要に応じてそれ以降のバージョン）が使用して既存のSlovak eIDAS-Nodeをアップグレードすることを目的とする。開発されたバージョンのeIDAS-Node（Proxy Service及びConnector Serviceの両方）は、本番環境に導入する。</p> <p>これにより、スロバキアにおいて安全かつ相互運用可能なeIDASの実装が確保され、EU内の電子識別スキームに基づく越境での電子取引及びEUデジタル単一市場の発展に寄与する。</p>

(2) 電子サービスの利用促進 [電子署名／電子シール]

プロジェクト番号	2018-SK-IA-0023
プロジェクト名	Document management system with long term signature validation based on DSS
実施国	Slovakia
期間	January 2019 to November 2019
支援金額	€41,087
実施機関	Archimetes s.r.o. (Slovakia)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>eSignature DSI（電子署名サービス）機能を統合し、電子署名/電子シールの作成及び検証機能（長期検証機能を含む）を備えた文書管理システム（DMS）のサービスを構築した。このソリューションは、高度な電子署名の作成と検証のためのeIDAS規則と関連するETSI標準に適合している。</p> <p>これにより、スロバキアの小規模自治体は、この文書管理システムを導入することで、他の公的機関（裁判所や他の自治体）が電子的に署名した文書を検証することができるようになる。</p>

25. スロベニア (Slovenia)

(1) eIDASインフラ開発支援

プロジェクト番号	2017-SI-IA-0037
プロジェクト名	Slovenian eIDAS Node and Integrated Services - SI-PASS
実施国	Slovenia
期間	January 2018 to April 2019
支援金額	€389,453
実施機関	Jozef Stefan Institute (Slovenia)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	<p>スロベニアに最新版のeIDAS技術仕様に準拠したeIDAS-NodeをSI-CAS (Slovenian central authentication system) 及びSI-CeS (Central eSignature system) から構成されたスロベニアのSI-PASSプラットフォームと統合し、設置した。</p> <p>また、eIDAS-Nodeを既存の4つの公共サービスと1つの民間の越境電子サービス (eHealth、知的財産システム、ePension、公的法律記録、ビジネス取引ドメイン) に接続し、遠隔電子署名システムを、電子署名DSIが提供するDSS (Digital Signature Service) の最新版に更新し、電子シールの遠隔サービスも可能にした。</p> <p>これにより、EU市民は国が発行するeIDカードを使ってスロベニアの電子サービスにアクセスできるようになった。SI-CeSシステムに依存する場合、電子署名と電子シールの相互承認と国境を越えた相互運用性を保証する。</p>

(2) 電子サービスの利用促進

プロジェクト番号	2019-SI-IA-0030
プロジェクト名	Integrating Slovenian e-services with the national eIDAS node - SI-PASS 2.0
実施国	Slovenia
期間	November 2019 to April 2021
支援金額	€377,189
実施機関	Jozef Stefan Institute (Slovenia)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	<p>SI-PASS 2.0 Actionの主な目的は、既存の6つの公共及び民間の電子サービスを国のeIDAS-Nodeに統合し、他のEU加盟国の利用者がアクセス及び使用できるようにすることである。対象サービスは、電子政府、健康保険、自治体、金融サービスの分野をカバーしている。eIDAS準拠の電子サービスは、このプロジェクト終了までに本番環境で利用できるようになる。</p> <p>サービスの統合により、スロベニアのService Providerは、(通知された電子識別スキームを持つ) あらゆるEU加盟国から発行されたeIDを受け入れ、eIDAS規則に準拠した越境取引が可能になる。</p> <p>これにより、スロベニアの公共部門及び民間部門におけるCEF eID building blockの展開に寄与する。これは、前回実施した2017-SI-IA-0037に基づく。</p>

(3) EU内共同プロジェクト

スロベニアが参画した「EU共同プロジェクト」のプロジェクト番号を次に示す。

なお、詳細は「32. EU内共同プロジェクト」を参照のこと。

・ 2017-EU-IA-0051

・ 2018-EU-IA-0032

26. スペイン (Spain)

(1) eIDASインフラ開発支援

プロジェクト番号	2014-ES-IM-0009
プロジェクト名	Setting up of an eIDAS compliant PEPS in Spain
実施国	Spain
期間	January 2016 to June 2016
支援金額	€50,000
実施機関	The Kingdom of Spain - Ministerio de Hacienda y Administraciones Públicas (Spain)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	<p>スペインのインフラをeIDAS Networkに接続するための準備を行うことで、スペインにおけるeIDASインフラの開発を支援した。</p> <p>具体的には、STORK及びSTORK 2.0への参加を通じて、既に展開していたPEPSをベースにeID国内インフラをeIDAS互換のeID building blockのリリースに適合させ、PEPS (Pan-European Proxy Services) をIdentity Provider、Service Provider、Attribute Providerに接続できるようにして、スペインの国レベルでSpanish eIDAS-Node (Proxy Service) を設定した。</p> <p>Spanish eIDAS-Node (Proxy Service) のセットアップは、CEF eID DSIとのテストで確認されている。</p>

プロジェクト番号	2014-ES-IM-0010
プロジェクト名	Operation of the Spanish Pan-European Proxy Services for the first years
実施国	Spain
期間	July 2016 to June 2019
支援金額	€150,000
実施機関	Kingdom of Spain - Ministerio de Política Territorial y Funcion Publica (Spain)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	<p>2014-ES-IM-0009で構築したSpanish eIDAS-Nodeを3年間、試験運用した。</p> <p>このeIDAS-Nodeは、現在、他のEU eIDAS-Nodeと実運用で接続されており、スペインの公共サービスでは、各国の電子識別スキームを使用してEU市民を識別し、他のEU諸国のオンラインサービスにアクセスする際には、スペイン市民を識別することができる。(但し、eIDAS規則に基づいて通知されたスペインの電子識別スキームを使用する場合に限る。)</p>

(2) 電子サービスの利用促進

プロジェクト番号	2015-ES-IA-0087
プロジェクト名	Connecting public services to the Spanish eIDAS node
実施国	Spain
期間	March 2017 to February 2018
支援金額	€744,047
実施機関	RED.ES Entidad Pública Empresarial (Spain)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>CI@ve system (eID national gateway)を利用して、スペインの公共電子サービスをSpanish eIDAS-Nodeに接続し、次の電子サービスをeIDASに統合した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人による不動産取得手続き（国防省） ・ジャウメー世大学、ムルシア大学、コルドバ大学が提供する学生向けeサービス（ERASMUSを含む） ・ナバラ地方のアクセス制御と代表システム ・バレンシア自治体の電子オフィス ・イビサ、ガンディア、エステポナ、カステロンの各自治体で使用されているGestionaプラットフォーム上のeサービス ・書類提出のための汎用フォーム（MINHAFP） <p>なお、Gobierno de CanariasのeサービスのCI@veとのeIDASインターフェースへの接続が無償資金協力の契約では予定されていたが、未実施であった。接続されたすべての電子サービスがテスト環境で利用可能であり、eIDの越境認証が可能となった。eIDAS規則に関する義務が適用されるようになれば、本番環境でも利用できるようになる。</p>

プロジェクト番号	2017-ES-IA-0042
プロジェクト名	CEF eID-FIWARE
実施国	Spain
期間	November 2017 to March 2019
支援金額	€276,198
実施機関	Universidad Politecnica de Madrid (Spain)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>eID DSI を FIWARE プラットフォーム（FIWARE Identity ManagementとAccess Control General Enabler）に統合した。これにより、FIWAREアカウントの認証情報だけでなく、eIDAS eID（eIDAS規則に基づき通知された電子識別スキーム）でもFIWAREエコシステムサービスにアクセスすることが可能となる。また、第三者が最小限の労力でCEF eIDと同様の統合を行えるように、オープンソースソフトウェアライブラリが作成された。これにより、FIWAREコンポーネントとeIDASを使用したアプリケーションの開発が容易になる。さらに、FIWARE Identity Manager（eIDAS authentication gateway）を使用して、2つのユースケース（企業向けビデオ会議プラットフォームMasme.ioとSmartSantander IoTインフラ）を展開し統合し検証した。</p>

プロジェクト番号	2018-ES-IA-0039
プロジェクト名	Connecting Regional and Local Administrations to Spanish eIDAS Node (eID4Spain)
実施国	Spain
期間	September 2018 to February 2020
支援金額	€261,926
実施機関	Universitat de València (Estudi General) (Spain)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>スペインの4つの地方行政機関（Junta de Extremadura, Diputación de Ciudad Real, Diputación de València, Ayuntamiento de Rivas Vaciamadrid）が提供する公共電子eサービスを、CL@VE 2.0 を通じてSpanish eIDAS-Nodeに接続して、eIDAS規則に準拠した越境認証を可能にした。</p> <p>これにより、EU市民は自国のeIDを使用してこれらの電子サービスを利用できるようになり、スペイン当局との通信がより簡単かつ迅速に行えるようになった。</p>

プロジェクト番号	2019-ES-IA-0040
プロジェクト名	Connecting Public Administrations to the Spanish eIDAS Node (eID4Spain-19)
実施国	Spain
期間	January 2020 to June 2021
支援金額	総額€373,750のうち、€280,313
実施機関	Universitat Politècnica de València (Spain)
状況	Ongoing 【実行中】
実施内容（参考）	<p>スペインの2つの行政機関（Diputación Provincial de Valladolid及びServicio Andaluz de Salud）が提供する公共電子サービスを、CL@VE 2.0（スペイン認証システム）を介してSpanish eIDAS-Nodeに接続して、eIDA規則準拠の越境認証を可能にすることを目的とする。</p> <p>これら2つの行政機関が提供する電子サービスが、越境認証のための本番環境（eIDAS経由）で利用可能になる。さらに、すべての参加者は、電子政府ポータルで得られた結果を利用者、他の行政機関及びEUの利害関係者に提示する。</p> <p>これにより、すべてのEU市民と企業が自国のeIDを使用してスペインの公共電子サービスにアクセスできるようにすることで、スペインにおけるCEF eID building blockの展開に寄与する。これは、以前に実施した2015-ES-IA-0087及び2018-ES-IA-0039に基づく。</p>

プロジェクト番号	2020-ES-IA-0025
プロジェクト名	eID4Spain2020 Action: Public administrations connecting to the Spanish eIDAS node
実施国	Spain
期間	February 2021 to July 2022
支援金額	総額€436,560のうち、€327,420
実施機関	Universitat de València (Estudi General) (Spain)
状況	Ongoing 【実行中】

実施内容（参考）	<p>スペインの3つの行政機関（Ayuntamiento de Alcobendas、Diputación de Ourense、Centro de Investigaciones Energéticas Medioambientales y Tecnológicas）が提供する公共電子サービスを、CL@VE 2.0（スペイン認証システム）経由でSpanish eIDAS-Nodeに接続して、eIDAS規則準拠の越境認証を可能とする。</p> <p>プロジェクト終了後、これら3つの行政機関が提供する電子サービスが、越境認証のための本番環境（eIDAS経由）として利用可能になる。さらに、すべての参加者は、電子政府ポータルで得られた結果を利用者、他の行政機関及びEUの利害関係者に提示する。</p> <p>これにより、すべてのEU市民と企業が自国のeIDを使用してスペインの公共電子サービスにアクセスできるようにすることで、スペインにおけるCEF eID building blockの展開に寄与する。これは、以前に実施した2015-ES-IA-0087、2018-ES-IA-0039及び2019-ES-IA-0040に基づく。</p>
----------	---

(3) EU内共同プロジェクト

スペインが参画した「EU共同プロジェクト」のプロジェクト番号を次に示す。
また、スペインに所在する機関が中心となって実施したプロジェクトを赤字で示す。
なお、詳細は「32. EU内共同プロジェクト」を参照のこと。

- ・ 2016-EU-IA-0059
- ・ 2016-EU-IA-0064
- ・ 2017-EU-IA-0032
- ・ 2017-EU-IA-0051
- ・ 2018-EU-IA-0024
- ・ 2018-EU-IA-0026
- ・ 2018-EU-IA-0032
- ・ 2018-EU-IA-0036
- ・ 2019-EU-IA-0044
- ・ 2020-EU-IA-0026

27. スウェーデン (Sweden)

(1) eIDASインフラ開発支援

プロジェクト番号	2014-SE-IM-0019
プロジェクト名	Extending the national Pan-European Proxy Service for R&I for cross border services in Europe
実施国	Sweden
期間	November 2015 to July 2019
支援金額	€100,000
実施機関	Stockholms Universitet (Sweden)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>ストックホルム大学が中心となってPEPSを開発し、スウェーデン国内のPEPS（SE PEPS）に接続した。このPEPSの目的は、学術機関だけでなく、他の民間・公的機関も利用できる学術的な属性にアクセスすることであった。</p>

	しかし、STORKネットワークからeIDASインフラへの移行に伴い、提案された実装アプローチが時代遅れとなり、この事業を完全に完了することはできず、PEPSのセットアップと1年間試験運用のみが実施された。
--	--

(2) EU内共同プロジェクト

スウェーデンが参画した「EU共同プロジェクト」のプロジェクト番号を次に示す。

なお、詳細は「32. EU内共同プロジェクト」を参照のこと。

- ・ 2018-EU-IA-0036

28. イギリス (United Kingdom)

(1) eIDASインフラ開発支援

プロジェクト番号	2014-UK-IM-0021
プロジェクト名	Implementing eIDAS for GOV.UK Verify
実施国	United Kingdom
期間	December 2015 to April 2019
支援金額	€100,000
実施機関	UK Cabinet Office (United Kingdom)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	イギリスのインフラをeIDAS Networkに接続するための準備を行うことで、イギリスにおけるeIDASインフラの開発を支援した 具体的には、国のeIDソリューションにリンクしたUK eIDAS-Node (eIDAS Proxy Service) を設置して1年間試験運用を実施した。

(2) EU内共同プロジェクト

イギリスが参画した「EU共同プロジェクト」のプロジェクト番号を次に示す。

また、イギリスに所在する機関が中心となって実施したプロジェクトを赤字で示す。

なお、詳細は「32. EU内共同プロジェクト」を参照のこと。

- ・ **2016-EU-IA-0070**
- ・ 2018-EU-IA-0026

29. アイスランド (Iceland) [EEA]

(1) eIDASインフラ開発支援

プロジェクト番号	2014-IS-IM-0015
プロジェクト名	Operate and develop Pan European Proxy services in Iceland
実施国	Iceland
期間	September 2015 to August 2018
支援金額	€150,000
実施機関	Thjodskra Islands (Registers Iceland) (Iceland)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	アイスランドのインフラをeIDAS Networkに接続するための準備を行う

	<p>ことで、アイスランドでのeIDASインフラの開発を支援した。</p> <p>具体的には、STORK2インフラをベースに、DIGITが提供するeIDAS-Nodeのサンプル実装をベースにIcelandic eIDAS-Nodeをアップグレードし、3年間試験運用を実施した。</p>
--	--

(2) EU内共同プロジェクト

アイスランドが参画した「EU共同プロジェクト」のプロジェクト番号を次に示す。
 なお、詳細は「32. EU内共同プロジェクト」を参照のこと。

・ 2016-EU-IA-0064

30. リヒテンシュタイン (Liechtenstein) [EEA]

リヒテンシュタインが単独で又は共同で実施したプロジェクトは無い。

31. ノルウェー (Norway) [EEA]

(1) eIDASインフラ開発支援

プロジェクト番号	2014-NO-IM-0011
プロジェクト名	Norwegian CEF eID Node
実施国	Norway
期間	January 2016 to January 2019
支援金額	€200,000
実施機関	Difi - Direktoratet for forvaltning og IKT (Norway)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	<p>ノルウェーのインフラをeIDAS Networkに接続するための準備を行うことで、ノルウェーにおけるeIDASインフラの開発を支援した。</p> <p>具体的には、Norwegian eID gateway「ID-porten」に接続するNorwegian eIDAS-Node (Proxy Service)を設置して3年間試験運用を実施した。これにより、ノルウェーのeIDAS-Nodeは完全に稼働し、他のEU/EEA諸国の国民からの越境認証要求をサポートする準備が整った。</p>

プロジェクト番号	2017-NO-IA-0048
プロジェクト名	Enabling Norwegian online services for persons using eIDAS eID
実施国	Norway
期間	February 2018 to April 2019
支援金額	€115,172
実施機関	Direktoratet for forvaltning og IKT (Norway)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	<p>Norwegian eIDAS-Node (ID-porten)が、ノルウェーの電子サービスで外国のeIDAS eIDが使用された際に、関連する属性情報を電子サービスの所有者に提供するための技術開発を実施した。具体的には、IDのマッチングに焦点を当て、eIDASのeID属性(氏名や生年月日など)を使用して、利用者が人口登録簿に登録されたノルウェーのPIDを既に持っているかどうかを確認する技術ソリューションを開発し実装した。IDのマッチングの結果、一致し</p>

	<p>た場合には、この情報はeID Assersion Messegeの一部としてService Providerに伝達される。IDのマッチングは、利用者が電子サービスに対して認証を行うだけでなく、それを利用する際にも役立つ。</p> <p>これにより、外国のeIDAS eIDを使用して、Altinn（650の電子公共サービスにアクセスするための国家電子政府ソリューション）とCERESシステム（学生管理及び研究情報システム並びにサービス）の2つの電子サービスにアクセスすることが可能になった。</p>
--	--

(2) EU内共同プロジェクト

ノルウェーが参画した「EU共同プロジェクト」のプロジェクト番号を次に示す。

なお、詳細は「32. EU内共同プロジェクト」を参照のこと。

- ・ 2016-EU-IA-0064
- ・ 2017-EU-IA-0032

32. EU内共同プロジェクト

(1) 電子サービスの共同利用

プロジェクト番号	2016-EU-IA-0059
プロジェクト名	LEPS (Leveraging eID in the Private Sector)
実施国	Greece, Spain
期間	September 2017 to November 2018
支援金額	€897,310
実施機関	ATOS SPAIN SA (Spain)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>民間のService Providerが提供する電子サービスをスペインとギリシャのeIDAS-Nodeに接続し、スペインやギリシャ以外の欧州の利用者（各国で発行されたeIDを持つ）が国境を越えて、次に挙げる電子サービスにアクセスできるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Correos認定の電子配信サービス（My Mailbox）及び電子通知サービス（My Notifications）。これらのオンライン電子サービスは、Spanish eIDAS-Nodeに接続されたeIDAS Adaptorを通じて統合した。 ・ Hellenic Postの電子配信サービス（eDelivery Hybrid Mail Serviceとオンラインポータル） ・ Athens Exchange Group のリモート電子署名サービス（ATHEX Identity Provider、ATHEX Sign、AXIAweb）。Grekk Service Providerの統合は、LEPS eIDAS API Connectorsを使用することで実現した。 <p>さらに、モバイル対応のeIDAS認証を提供するために、モバイルアプリを実装した。また、ロードマッピングの調査、政策ガイドライン、他のEU加盟国へのアウトリーチ活動を実施し、このプロジェクトの目的と成果を関係者に公開した。</p>

プロジェクト番号	2016-EU-IA-0064
プロジェクト名	eID@Cloud - Integrating the eIdentification in European cloud platforms according to the eIDAS Regulation
実施国	Denmark, Iceland, Netherlands, Norway, Spain
期間	May 2017 to September 2018
支援金額	€676,723
実施機関	Universidad Carlos III de Madrid (Spain)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>5つのクラウドプラットフォーム（EDICOM / Officient / Akseesspunkt / eConnect / Unimaze）をeID DSI（デジタルサービスインフラ）に統合した。これらのクラウドプラットフォームは、各国のeIDAS-Node（スペイン、ノルウェー、デンマーク、オランダ、アイスランド）に接続され、eIDAS規則に基づいてeIDAS-Nodeから受信した新しい認証データのセットを要求し受信し処理できるようにした。</p> <p>これにより、民間のProviderによるeID DSIの採用が促進された。</p>

プロジェクト番号	2018-EU-IA-0026
プロジェクト名	Cross-border authentication in European cloud platforms according to the eIDAS Regulation (EUROLogin)
実施国	Belgium, Cyprus, Italy, Spain, United Kingdom
期間	October 2018 to September 2020
支援金額	総額€798,603のうち、€598,952（総額の75%）
実施機関	Universitat Politècnica de València (Spain)
状況	Ongoing 【実行中】
実施内容（参考）	<p>eID DSI（デジタルサービスインフラ）をEDI Provider 3社（Billit、SATA、ELCOM）及び公立大学1校（University of Cyprus）のシステムに統合する。EDI Provider 3社とキプロスの公立大学は、各国（ベルギー、キプロス、イタリア、イギリス）のeIDAS-Nodeに接続され、次のサービスが越境認証に利用可能になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ eDelivery solution 及び BILLIT Peppol Access Point に関連付けられた BILLIT 電子文書認証サービス（BILLIT-EDAS） ・ SATA Cloud Extraction サービス（SATA-CE） ・ ELCOM PECOS eService（Procure-to-Payソフトウェア） ・ キプロス大学が利用する Erasmus Student Identification サービス（Goldman が実装予定） <p>これにより、EDI Provider 3社とキプロスの公立大学は、eIDAS規則に基づき、eIDAS-Nodeから受け取った新しい識別データのセットを要求、受信、処理することができるようになる。このプロジェクト完了までに、すべてのサービスが本番環境で越境認証が可能になる。</p>

プロジェクト番号	2019-EU-IA-0047
プロジェクト名	RegeID
実施国	Belgium, Czech Republic, Denmark, Estonia, Netherlands
期間	January 2020 to June 2021
支援金額	総額€697,107のうち、€522,830（総額の75%）
実施機関	CZ.NIC z. s. p. o. (Czech Republic)
状況	Ongoing 【実行中】
実施内容（参考）	<p>欧州4カ国（チェコ共和国、デンマーク、エストニア、オランダ）の国家トップレベルのドメインの管理者が提供する登録者サービスをeIDASインフラに開放し、すべてのEU諸国の国民に提供することで、eID DSIの統合を支援する。</p> <p>これにより、eID building blockの使用をインターネットドメイン業界に拡大し、EUの居住者が他のEU諸国でドメイン名を管理する際の現実的な制約を減らすことができる。また、登録者は自国のeIDを通じて登録ドメイン名の情報を保護できるようになり、インターネット環境全体における信頼、保証、セキュリティが強化される。この結果、偽のドメイン登録が防止され、サイバー犯罪との戦いや知的財産権の保護に大きく寄与することになる。</p> <p>登録係がeIDASインフラに接続するための障壁を特定し、関連する利害関係者と共有することで、ドメイン名業界の様々なセグメントにおける将来的なeID DSIの導入への道が開かれる。</p>

プロジェクト番号	2020-EU-IA-0026
プロジェクト名	EUROLogin2020 Action: Cloud platforms using the cross-border identification of European citizens through eIDAS nodes
実施国	France, Italy, Netherlands, Spain
期間	March 2021 to July 2022
支援金額	総額€436,634のうち、€327,475（総額の75%）
実施機関	Universitat de València (Estudi General) (Spain)
状況	Ongoing 【実行中】
実施内容（参考）	<p>EDI（European Electronic Data Interchange）のProvider 3社（Generix、Nubilaria、headON）のシステムにeID DSIを統合する。EDI Providerは、3つの異なるeIDAS-Node（フランス、イタリア、オランダ）に接続され、次のサービスが越境認証のために利用可能になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Generix社のクラウドプラットフォーム（Genrix Supply Chain Hub）は、French eIDAS-Node接続される。 ・ Nubilaria社のクラウドプラットフォーム（Nubilaria cloud EDC Clinical Platform, ACTide）は、同社のeIDコンポーネントを統合し、Italian eIDAS-Nodeに接続される。 ・ HeadON社のクラウドプラットフォーム（headON Cargoledger platform）は、Dutch eIDAS-Nodeに接続される。 <p>これにより、3つのEDI Providerは、eIDAS規則に基づき、eIDAS-Nodeから受け取った新しい識別データのセットを要求、受信、処理することが可能になる。すべてのサービスは、プロジェクト終了までに本番環境での越境認証が可能になる。</p>

(2) 電子サービスの共同利用 [金融関係/銀行口座開設]

プロジェクト番号	2016-EU-IA-0070
プロジェクト名	Opening a bank account with an EU digital identity
実施国	France, United Kingdom
期間	May 2017 to December 2018
支援金額	€430,606
実施機関	Open Identity Exchange Europe (United Kingdom)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	ある国で作成されたeIDを別の国で使用して、銀行口座の開設を迅速化するためのプロトタイプをインフラを開発した。このプロトタイプをインフラを使用して、(当初予定されていたフランスのeIDの代わりに) オーストリアのeIDを使用したデモを実施した。

プロジェクト番号	2018-EU-IA-0044
プロジェクト名	eIB (eIDAS-enabled i-Banking)
実施国	Greece, Italy
期間	April 2019 to April 2021
支援金額	総額€1,003,577のうち、€752,683 (総額の75%)
実施機関	Athens Stock Exchange S.A. (Greece)
状況	Ongoing 【実行中】
実施内容 (参考)	<p>国境を越えて新規顧客と銀行口座を開設するプロセスを自動化するためのビジネスプロセスモデルの開発を目的とする。</p> <p>さらに、eIDAS対応のバリューチェーン「i-marketplace」を構築することで、新世代の国境を越えた電子バンキングサービスを生み出すことを目的とし、eIDAS IDを介して、高レベルの保証で利用者をリアルタイムで識別し、資産と情報を交換し、最終的に銀行商品と自動化された電子サービスを提供する。i-marketplaceで利用可能になる具体的なサービスは、プロジェクトの期間中に定義されるが、最低限、通信サービスや請求書払いが含まれる。さらに、i-marketplaceの機能を拡張し、国境を越えたB2B取引シナリオもカバーする。</p> <p>ソリューションの展開は、ギリシャ国立銀行(NBG)で行われる。すべてのオペレーションは、eIDAS認証フレームワークとeSignature DSI (DSSソリューション)を使用し、本番環境で利用可能になる。</p>

(3) 電子サービスの共同利用 [教育関係/学生証]

プロジェクト番号	2017-EU-IA-0032
プロジェクト名	ESMO (eIDAS-enabled Student Mobility)
実施国	Greece, Norway, Spain
期間	April 2018 to June 2019
支援金額	€581,206
実施機関	Atos Spain SA (Spain)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	<p>eIDAS Networkを通じて、高等教育機関（スペイン、ノルウェー、ギリシャ）の国境を越えた電子識別と認証、及び単純なドメイン固有属性の交換を支援する国境を越えた技術的ソリューションを開発した。</p> <p>eIDASを利用することで、対象となるサービスへの越境認証が可能になり、eIDASインフラの外側にあるESMO gatewayを通じてドメイン固有属性の交換が可能になった。</p> <p>これにより、EU学生eカードDSIのコアサービスプラットフォームの開発に寄与する。</p>

プロジェクト番号	2017-EU-IA-0051
プロジェクト名	eID4U
実施国	Austria, Italy, Portugal, Slovenia, Spain
期間	February 2018 to October 2019
支援金額	€584,314
実施機関	Politecnico di Torino (Italy)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	<p>学生のモビリティシナリオを実現するために、eIDASインフラに転送する必要がある学術属性 (academic attribute) を定義し、教育機関がeIDAS Networkをどのように利用できるかを示した。さらに、Pre-production Node又はこのために特別に設定されたNodeを使用することで、コンソーシアム加盟国のeIDAS-Nodeによる学術属性の交換と処理を可能にした。さらに、eID4U学術属性のサポートにより、Academic Service Providerの電子サービスを拡張し、学術サービスが国境を越えたeIDAS認証と定義された学術属性の転送からどのように恩恵を得られるかを実証した。この成果は、EU Student eCard DSIのコアサービスプラットフォームの開発に寄与する。</p>

プロジェクト番号	2018-EU-IA-0024
プロジェクト名	SEAL (Student and Citizen Identities Linked)
実施国	Greece, Portugal, Spain
期間	April 2019 to March 2021
支援金額	€1,153,901
実施機関	ATOS SPAIN SA (Spain)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>学生のモビリティを促進することを目的とし、eIDAS eIDと学生/研究者のアイデンティティ（eduGAINと欧州学生識別子）の利点を組み合わせることで、eIDASと高等教育/研究ドメイン間の分野横断的な相互運用を可能にすることを旨とした。これは、ID間の相互リンクメカニズムを確立するSEALリンクサービスプラットフォームの展開を通じて実現した。</p> <p>このプラットフォームは、既存のソフトウェアソリューションを使用し、ESMO Gateway (2017-EU-IA-0032) の成果を活用し、ブロックチェーンを統合し強化することで、より高度な信頼を提供する。eIDAS Networkへの接続は、eIDAS-Node（ギリシャ又はスペイン）との統合により保証される。</p> <p>SEALリンクサービスプラットフォームを確立することで、HEI（高等教育機関）のサービスがカスタマイズされ、SEALプラットフォームと統合される。</p> <p>このプロジェクトでは、リンクサービスがより多くのクライアントサービスを引き付けて、将来的な維持、GÉANT/NRENによる採用、HEIによる統合を確実にする方法について、2018-EU-IA-0036と連携して調査する。</p>

プロジェクト番号	2018-EU-IA-0036
プロジェクト名	MyAcademicID
実施国	Croatia, France, Germany, Greece, Italy, Luxembourg, Netherlands, Spain, Sweden
期間	January 2019 to December 2020
支援金額	€629,463
実施機関	European University Foundation-Campus Europae (Luxembourg)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>高等教育機関（HEI）、特にErasmus+の学生モビリティの分野におけるeID building blockの導入に寄与することを目的として、eduGAIN (GEANT identity interederation service)及び欧州学生証（European Student Card）をeIDASに接続し、高等教育のためのeIDAS準拠の欧州の学生eIDが定義する。</p> <p>欧州の学生eIDは、次のようなものに統合する予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オンライン学習契約（Erasmus+のモビリティに参加する際に学生が電子的に署名する文書） 2. Erasmus+ Dashboard（モビリティの管理でHEIを支援するツール） 3. Erasmus+ mobile App（Erasmus+の学生がアクセスできるシングルポイント） 4. PhD Hubプラットフォーム（研究用プラットフォーム） <p>さらに、クロアチア国内の学生eIDを欧州の学生eIDと相互運用可能にし、Erasmus Without PaperネットワークがeduGAINとの接続を展開することによって欧州の学生eIDを統合できるかの分析も行う。</p>

	相乗効果を達成するために、学生の移動のための他の進行中のCEFプロジェクト（特に2018-EU-IA-0024）と協力して実施する。
--	--

(4) 電子サービスの共同利用 [教育関係/電子署名]

プロジェクト番号	2020-EU-IA-0056
プロジェクト名	eSignForStudy
実施国	Czech Republic, Ireland, Poland
期間	April 2021 to September 2022
支援金額	総額€326,678のうち、€245,009（総額の75%）
実施機関	OPTEAM SPÓLKA AKCYJNA (Poland)
状況	Ongoing 【実行中】
実施内容（参考）	<p>高等教育機関で使用される高度に設定可能な電子署名ソリューション（eSignature DSI Building BlockのDSSオープンソースライブラリをベース）を設計・開発する。このソリューションは、ポーランドの高等教育機関に導入する。特に、ワルシャワ大学では、電子署名ソリューションを学生情報システム（SIS）に統合し、このツールを導入した後、ワルシャワ大学とチェコ工科大学は、Erasmus Without Paperプラットフォームを介して署名された文書を交換し、国境を越えた試験及び検証を行う予定である。</p> <p>コンソーシアムは、本システムの目的や利点に関する認知度を高め、高等教育機関に本システムの利用を促す。</p> <p>これにより、高等教育機関による電子署名の利用が可能になり、文書の電子署名及び検証が可能になる。</p>

(5) 電子サービスの共同利用 [健康関係]

プロジェクト番号	2017-EU-IA-0044
プロジェクト名	Development of an eIDAS – openNCP Connector for cross border eHealth
実施国	Austria, Czech Republic, Germany, Greece, Italy, Lithuania, Portugal
期間	March 2018 to October 2019
支援金額	€561,951
実施機関	Serviços Partilhados do Ministério da Saúde E.P.E. (Portugal)
状況	Closed 【完了】
実施内容（参考）	<p>欧州委員会及び加盟国に対して、OpenNCPベースのNational Contact Point for eHealth (NCPeH)をeIDAS-Nodeに接続するeID Connectorの参照実装を開発し試験し提供した。</p> <p>また、eID Connectorをポルトガルに限定して、国のeIDASインフラを国のNCPeHに接続し、「看護記録へのアクセス」や「ePrescriptionサービス」など国境を越えたeHealth Information Services (CBeHIS) への安全なアクセスを可能にする方法を実証した。</p> <p>eIDソリューションコンポーネントは、eHealthデジタルサービスインフラ（eHealth DSI）とeHealthのためのNational Contact PointがeHealth DSI参照実装のデジタル識別ポリシーに組み込むために、オープンソースソフトウェアコンポーネントとして利用できるようになった。</p>

(6) 電子サービスの共同利用 [電子委任関係]

プロジェクト番号	2018-EU-IA-0032
プロジェクト名	SEMPER - Cross-border Semantic Interoperability of Powers and Mandates
実施国	Austria, Netherlands, Slovenia, Spain
期間	January 2019 to December 2020
支援金額	€686,172
実施機関	Technische Universitat Graz (Graz University of Technology) (Austria)
状況	Closed 【完了】
実施内容 (参考)	<p>国境を越えた代表権 (powers of representation) 及び電子委任 (e-mandate) のためのソリューションの提供を目的とする。特に、委任属性 (mandate attribute) をセマンティックに定義し、各国の委任管理インフラを接続するためのeIDAS相互運用性フレームワークを強化する。</p> <p>これにより、Service Providerは、eIDASを利用したサービス内で法人や自然人の表現が可能になり、eIDAS-Nodeの運用者は、Attribute Provider (Identity Providerとの接続は別) として、各国の委任インフラにアクセスできるようになる。</p> <p>具体的には、受益者 (AT, ES, NL, SI) のeIDAS-Nodeの実装を、代表権と電子委任の属性をサポートする追加機能で強化し、電子委任をAT, NL, SIの特定の電子サービスに統合する。</p> <p>これは、ISA2の事業「Semantic interoperability for representation powers and mandate (2016.12)」とeIDAS Technical Subgroupの活動を通じて、その結果をフィードバックし、すべてのEU加盟国がその経験とベストプラクティスから利益を得られるようにする。</p>

(7) 電子サービスの共同利用 [トラストサービス/顧客の身元確認]

プロジェクト番号	2019-EU-IA-0044
プロジェクト名	GRIDS (increasinG tRust with eId for Developing buSiness)
実施国	Austria, Greece, Italy, Spain
期間	April 2020 to October 2021
支援金額	総額€1,160,818のうち、€870,614 (総額の75%)
実施機関	ATOS SPAIN SA (Spain)
状況	Ongoing 【実行中】
実施内容 (参考)	<p>複数のビジネスシナリオにおけるKYC (Know Your Customer) 適正評価業務 (Due Diligence) の強化を実現するために、KYCデータとeIDASの本人確認プロセスを統合することを目的とする。GRIDSは、デジタルKYCプロバイダがeIDASの本人確認機能を利用して、顧客に関する一貫した単一ビューを作成・維持し、効果的で正確なスクリーニングを行う方法を紹介する。</p> <p>これを実現するために、アクションは、eID DSIの機能を再利用したプラットフォーム (GRIDSプラットフォーム) を構築する。このプラットフォームには、eIDAS認証機能を提供するSP HUB (Service Provider HUB)と、KYC情報などの追加ソースから取得したデータをバンドルトークン (「eIDAS eID+KYC」データファシリティ) としてリッチ化し、さらに、KYCデータの消費者と共有するBAA (Business Attributes Aggregator) を含む。</p> <p>また、利用者がKYCサービスをシームレスに利用できるように、API</p>

	(Application Programming Interfaces)を開発し、利用者がサービスに接続するためのガイドラインを作成する。
--	---

(8) 電子サービスの共同利用 [トラストサービス/電子署名及び電子シール]

プロジェクト番号	2020-EU-IA-0115
プロジェクト名	ESVA - eSignature Validator for Academics
実施国	Czech Republic, Greece, Luxembourg, Portugal
期間	April 2021 to September 2022
支援金額	総額€282,315のうち、€211,736
実施機関	Universidade do Porto (Portugal)
状況	Ongoing 【実行中】
実施内容 (参考)	<p>eIDAS規則と関連規格に準拠した電子署名及び電子シールの検証のための独立した検証モジュールを開発することを目的とする。この検証モジュールは、署名検証用のeSignature DSSオープンソースライブラリを使用し、Erasmus Without Papers (EWP)と統合して、EWPネットワークを通じて交換される文書やデータ、即ちTranscript of Recordsの検証を可能にする。電子署名及び電子シールの検証で得られた属性を、EWPネットワークから得られた情報でリッチ化することで、これらのデータや文書の信頼度を向上させることができる。</p> <p>EWP-Nodeによる統合と利用を促進するための文書を作成し、またオープンソース大学連合リポジトリ (Open Source University Alliance repository)でのアクセスを可能にすることで、教育界に提供される。これにより、EWPネットワークと欧州デジタル学生サービス基盤 (European Digital Student Service Infrastructure, EDSSI) のプロジェクトと協力して、検証モジュールのさらなる活用を保証する。</p>